

## 国宝高松塚古墳壁画及び国宝キトラ古墳壁画のメンテナンス等について

### 国立文化財機構古墳壁画PT修復班（壁画担当）

#### ○ 高松塚古墳壁画

##### 1) 壁画の維持管理及び関連する資料の保存方法の検討に関する業務

###### ① 壁画の状態確認

修理時に材料を追加した部分、あるいは新規クリーニング作業（紫外線照射、酵素処置等）を施した部分を中心に、修理後の状況について定期的に確認を行っている。今年度は6月、10月に確認を行い、年度内の2月中にも予定している。



状態確認箇所 北壁下部 充填



状態確認箇所 天井3 解体時 MC 噴霧



状態確認箇所 東男子 解体時 HPC 養生



状態確認箇所 東男子 充填補強

###### ② 集中メンテナンス作業の状況確認及び打ち合わせ

令和7年5月、8月、10月、令和8年1月

##### 2) 壁画の修理作業に関する各種データ整理

###### ・資料の整理

関連資料についてリスト化と電子化を遂行しており、今年度は項目立てした資料のうち、所在箇所の付き合わせと、修理施設保管のものスキャニング準備を進めている。

## ○ キトラ古墳壁画

### 1) 再構成されなかった漆喰片を含む壁画の維持管理及び保存方法の検討

#### ① 集中メンテナンス作業

今年度集中メンテナンス：

令和7年6月、8月、11月、令和8年2月

#### ② 「辰」「巳」「申」「午」の保管方法に関する検討

「辰」「巳」「申」の安定化処置を随次、進めている。

裏面からの強化と支持を終了し、現在は表面保護の養生紙（表打ち）を外す作業と来年度に向けてのクリーニング方法の検討を行なっている。

昨年度、裏面からパラロイドB72溶液で3回含浸強化を終了していたが、今年度は、その上にポリアリレートシート（不織布様）1層、ポリアリレート（織様）1層を貼り、シリコン接着剤を用いて2mm厚のロハセルを3枚貼り付けた上で、表に戻した。現在、表打ちの除去をしつつ、表面のクリーニングを検討している。

令和8年度はクリーニング作業を継続し、令和9～令和10年度に移動とはめ込みの予定である。はめ込みの作業場所や移動のスケジュール・動線など今後検討を要する。



辰（12月時点）



巳（12月時点）



申（12月時点）

令和9年度、表面から紙が取り除かれた段階で、表面の赤外撮影を行うことを保存活用班が中心となり検討している。

「午」については、漆喰側の再構成を遂行しつつ、泥側の今後の保管方法について検討を継続する。

## 2) 壁画の修理作業に関する資料のアーカイブ化

修理や点検の作業に関する物理的な資料については、目録化し、現在、東文研保存修復資料室において保管中であり、適宜、スキャンング等を実施している。